



# せたがや区議会だより

No.302

令和7年(2025年)11月15日  
発行 世田谷区議会

https://www.city.setagaya.lg.jp/gikai/index.html



〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27 TEL(5432)2779 FAX(5432)3030

## 令和6年度決算を認定 第3回定例会



第61回区民スポーツまつりの様子



### 議決内容

議決した案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から6年度決算5件を含む40件の案件が提出されました。また、6年度決算を審査するために決算特別委員会を設置しました。提出された議案のうち6年度決算5件を認定し、そのほかの議案は全て可決しました。なお、議員の懲罰動議を審査するために懲罰特別委員会を設置しました。  
※本紙に掲載する条例名は略称を使用しています。

●6年度各会計決算の認定 5件

○一般会計  
賛成多数 議員 立無愛 公明 行革 国民共 賛成多数 虹 世田 国際 風 参院 維新 無所属 反対 共産

○国民健康保険事業会計

賛成多数 議員 立無愛 公明 行革 国民共 賛成多数 虹 世田 国際 風 参院 維新 無所属 反対 共産

○後期高齢者医療会計

賛成多数 議員 立無愛 公明 行革 国民共 賛成多数 虹 世田 国際 風 参院 維新 無所属 反対 共産

○介護保険事業会計

○学校給食費会計  
(全員賛成)

●7年度各会計補正予算 5件

○一般会計(第三次)

(全員賛成)

○国民健康保険事業会計(第一次)

(全員賛成)

○後期高齢者医療会計(第一次)

賛成多数 議員 立無愛 公明 行革 国民共 賛成多数 虹 世田 国際 風 参院 維新 無所属 反対 共産

○介護保険事業会計(第一次)

(全員賛成)

○学校給食費会計(第一次)

(全員賛成)

―補正後の予算額は次のとおり。一般会計 四〇五八億三九〇万九千円

国保会計 八二六億四四三〇万九千円  
高齢者給付 二七億六〇六万九千円  
介護会計 七六六億四〇九万八千円  
給食会計 三九億四六六万九千円

●条例の新設 3件

○上用賀公園運動場条例  
(全員賛成)

上用賀公園運動場(上用賀4-36-1)を設置することなど。

○乳児等通園支援事業の設備・運営基準条例  
(全員賛成)

乳児等通園支援事業の設備や運営に係る基準を定める。

○区長等の給料特例条例  
(全員賛成)

本庁舎移転時に発生した歴代区長の肖像画5点を含む物品の滅失事故を踏まえ、区長及び担任副区長の給料を減額する。

○区民会館条例  
(全員賛成)

ラウンジを世田谷区民会館の施設に位置づけ、使用料を定めることなど。

○公共施設の共通使用手続条例  
(全員賛成)

障害者福祉施設条例  
(全員賛成)

障害者就労支援センターすきっぷほか4施設で実施する障害福祉サービスの、就労選択支援を追加する。

○区営住宅管理条例  
(全員賛成)

グリーンヒル大原(大原1-23-24)を設置する。

○地区計画区域内の建築物制限条例  
(全員賛成)

上用賀4丁目地区地区計画の都市計画決定に伴い、建築制限の内容を追加することなど。

○指定障害児入所施設の人員基準等条例  
(全員賛成)

○放課後児童健全育成事業の設備・運営基準条例  
(全員賛成)

○児童福祉施設の設備・運営基準条例  
(全員賛成)

○一時保護施設の設備・運営基準条例  
(全員賛成)

○家庭的保育事業等の設備・運営基準条例  
(全員賛成)

○特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営基準条例  
(全員賛成)

○幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件条例  
(全員賛成)

○幼保連携型認定こども園の運営等の基準条例  
(全員賛成)

―以上8件は、児童福祉法などの改正に伴い、必要な規定を整備する。

○学校設置条例  
(全員賛成)

碓幼稚園の位置を喜多見6-9-11に変更する。  
<<8ページへ続く>>

### 党派名等

自 民 自由民主党世田谷区議団

立無愛 立無愛党世田谷区議団

公 明 公明党世田谷区議団

F 行 革 無所属・世田谷行革110番

共 産 日本共産党世田谷区議団

国 都 民 国民民主党・都民ファーストの会

生 ネ 生活者ネットワーク世田谷区議団

虹 レインボー世田谷

世田谷 世田谷無所属

国 際 国際都市せたがや

風 せたがやの風

参政党 参政党

維 新 新日本維新の会

無所属 無所属

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状などは禁止されています。



# 代 表 質 問

9月16日及び17日の本会議で、5名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。



自由民主党世田谷区議員  
阿久津 皇



## 歴代区長の肖像画廃棄の責任

**質問** 庁舎移転時に歴代区長の肖像画を誤って廃棄する信じ難い事故が発生した。区長は肖像画に代わる歴代区長の顕彰方法や自身の責任についてどう考えているのか。

**区長** デジタル化などの手法を探り自身の責任の取り方も検討する。シビックプライドの醸成

**質問** 地域のスポーツチームや特産品など世田谷の魅力を生かし、区民が地域に誇りを抱き貢献しようとする意識「シビックプライド」を高めるべきだ。区の見解を聞かせ。

**区長** 区の魅力を発信し、地域を活性化する取組の種をまいていく。建設工事総合評価方式入札の改善

**質問** 区が試行中の建設工事総合評価方式入札は、小規模事業者には達成が困難な評価項目が多く、入札への参加が難しいとの声を聞く。課題を分析し改善を図れ。

**財務部長** 評価項目を絞るなどの試行を重ね、適宜改善を検討する。包括管理業務委託の制度設計

**質問** 区は学校施設で包括管理業務委託を導入予定だ。実施方針では受託者が修繕などを再委託する際、区内事業者の積極的な活用を求めているが、どこ担保するのか。

**警察・消防署長** 活用実績を確認し疑義が生じた際は厳格に指導する。災害時のし尿収集体制の再検証

**質問** 区は災害時の使用済み携帯トイレやし尿の収集について2017年の指針策定以来、見直していない。この間の人口の増加や最新の被害想定などを踏まえて再検証せよ。

**副区長** トイレ確保・管理計画を策定し、計画的な取組を進める。商店街の事業継続計画の策定支援

**質問** 商店街は地域の安全安心を支える大切な存在だ。災害時に各店舗が迅速に営業を再開できるように、中小企業診断士などと連携して事業継続計画の策定を支援せよ。

**経済産業部長** 中小企業診断士の活用を含め支援の充実を検討する。せたがやベイの機能拡充

**質問** せたがやベイの一層の普及に向けて機能を拡充すべきだ。区民から要望が多い公共料金や公金の支払に対応できるように課題を整理し実現に向けた検討を進めよ。

**経済産業部長** ニーズとコストを的確に把握し機能拡充に取り組み。障害者のデジタル機器の購入支援

**質問** 障害者の生活の質を高めるため、デジタル機器の活用を促進すべきだ。入力した文字が音声変換されるなど障害を補完する機能を持った機器の購入費を補助せよ。

**障害福祉部長** 機器の進歩に合わせた効果的な支援を検討する。歯科健診の受診率の向上

**質問** 歯周病などの口腔疾患は心疾患や糖尿病などを誘発するおそれもあり、予防には定期的な歯科健診が有効だ。受診率の向上を目指し、広報や啓発の充実を図れ。

**保健所長** 区民の意識や行動を変容する啓発や健診手法を検討する。特養ホームの建て替え支援

**質問** 区内の特養ホームは老朽化が進み、今後建て替えが増える見通しだ。代替施設を提供し建て替えを支援する都に対し、区内にも新たに施設を整備するよう求めよ。

**副区長** 区内事業者も活用しやすい地域への施設整備を要望する。特別支援学級の着実な整備

**質問** 障害特性に合わせた学習を望む子どもや保護者の声にこたえるのは区の責務だ。当事者の希望に沿った学びを提供できるように、特別支援学級の整備を着実に進めよ。

**教育総務センター長** 全小中学校への設置を将来的な目標としている。駅前再開発の推進

**質問** 地域の活性化に向け、区内の駅前再開発を推進すべきだ。多数の地権者との調整などを地域主導で進めるのは難しいため、区が積極的に関与し再開発を主導せよ。

**副区長** 積極的に支援を行い、魅力あるまちづくりに全力を注ぐ。



立憲民主党所属世田谷区議員  
中山 みずほ



## 誰もが納得できる財政運営の推進

**質問** 現役世代の多くは納めた税金が生活に還元される実感を持っていない。需要に即した適切な税の配分や戦略的な基金活用を図り、誰もが納得できる財政運営を行え。

**区長** 税の使途の理解やサービス向上の実感が高まるよう進める。真の協働による社会課題の解決

**質問** 多様化する社会課題の解決には行政のみならず民間の力が不可欠だ。民間事業者などを対等なパートナーとして尊重し、互いの強みを生かす真の協働を実現せよ。

**政策経営部長** 信頼関係を基盤とした連携の在り方を検討していく。多様な人々によるまちづくり

**質問** 千歳烏山駅周辺などの再開発では市場原理に任せるだけでなく長期的視点で将来を見通し、更に住民対話を優先に進めることが行政の重要な役割だ。見解を聞かせ。

**副区長** 再開発事業について地域の方と情報交換できる場を設ける。地域住民の参画による風景づくり

**質問** 再開発などにより地域の緑が突然失われる現状を是正すべきだ。区民が日常的に地域の風景づくりに携われる仕組みをつくれ。

**技監** 日頃から風景づくりに関心を持ち話し合う機運を醸成する。事業者の熱中症予防対策の促進

**質問** 事業者の熱中症対策が6月に義務化されたが、区内事業者が適切に対策を講じているか疑問だ。実態を把握し全庁で対策を講じよ。

**環境政策部長** 暑熱対策をどう実施すべきか各部の検討を促進する。福祉現場の人材確保策の推進

**質問** 福祉現場では正規職員の確保が困難なため雇用が不安定な派遣労働者が増えている。質の高いサービスを継続して提供できるように、直接雇用を促す方策を講じよ。

**高齢福祉部長** 職員が働きやすい職場環境づくりの支援を継続する。



公明党世田谷区議員  
平塚 けいじ



## 外国人総合相談窓口の開設

**質問** 区内在住外国人の増加を踏まえ、相談体制を強化すべきだ。クロッシングせたがやの移転を契機に、多様な相談に対応できる外国人総合相談窓口を開設せよ。

**生活文化政策部長** 移転を機に、外国人に寄り添った相談の充実を図る。外国人ボランティアバンクの創設

**質問** 福岡市は誰もが安心して暮らせるよう外国人支援ボランティアバンク制度を創設し、留学生などのボランティアが母国語で外国人を支援している。区も導入せよ。

**生活文化政策部長** せたがや文化財団とも協議し、検討していく。区内事業者のDXの推進

**質問** 区内事業者の業績向上に向け、産業活性化拠点ホームワークビレッジの機能を拡充すべきだ。事業者が業務効率化を図れるよう、DXを支援する体制を構築せよ。

**副区長** 産業活性化拠点における今後の取組について検討する。物価高対策と事業者支援

**質問** 6年度の決算剰余金は129億8千万円もある状況だ。この剰余金を活用し、物価高対策と事業者支援に資するせたがやベイの20%ポイント還元を11月から実施せよ。

**経済産業部長** 国や都の動向を注視し新たな物価高対策を検討する。介護事業者への支援の強化

**質問** 光熱費や食料費の高騰により介護事業者の経営が逼迫している。決算剰余金を原資に助成制度を創設するなど、介護事業者への効果的な支援策を早急に実施せよ。

**高齢福祉部長** 経営状況を情報収集し、有効な支援策を検討する。被爆地への平和学習の参加

**質問** さきの議会で区長は子どもたちが広島市や長崎市の平和学習プログラムに参加できるよう協議を進めると答弁した。被爆者の高齢化を踏まえ、早急に決断せよ。

**区長** 来年度から参加できるよう教育委員会と一体となって進める。不登校対策の強化

**質問** 不登校対策の強化に向け、福祉の専門職であるスクールソーシャルワーカーを拡充すべきだ。常勤化も視野に雇用条件を見直し、人材の確保と育成に取り組み。

**教育総務センター長** 職の在り方などを関係部署と協議しながら検討する。若者の居場所の拡充

**質問** 希望丘青少年交流センターでは学生インターンの協力の下、中高生が気軽に勉強や進路などを相談できる環境が整っている。こうした取組を他地域にも展開せよ。

**副区長** 施設整備などに際し若者の交流を軸とした運営を継承する。終活支援の制度設計の見直し

**質問** 我が党が長年求めている終活相談支援センターの設置が具体化してきたが、区が示したサービスは利用者の預託金額が高額であるなど問題点が多い。再検討せよ。

**保健福祉政策部長** 分割納付を受け付けるなど柔軟に対応していく。資源循環に向けた取組の推進

**質問** 高齢化の進展に伴い、大人用紙パンツの排出量が見込まれる。世田谷清掃工場とともに隣接する資源循環センターも改築し、紙パンツを資源化する設備を整えよ。

**清掃・リサイクル課** 国を通じ民間事業者へ資源化のルート整備を求めよ。予防医療の推進

**質問** 医療費の抑制には罹患者や重症化を防ぐ予防医療が有効だ。带状疱疹ワクチンの助成を継続するとともに、RSウイルスなどの感染症に係る予防接種も助成せよ。

**保健所長** 国や都の動向やワクチンの最新の知見も踏まえ検討する。現役世代への住宅政策の強化

**質問** 区内の住宅価格の高騰に伴い現役世代の転出が増加しており、対策が急務だ。住宅購入費の助成や住宅ローンの利子補給、家賃補助などの支援策を早急に講じよ。

**区長** 世田谷の住宅事情の実態に沿った支援策を早急に検討する。



無所属・世田谷行革10番  
桃野 芳文



## 歴代区長の肖像画亡失への疑念

**質問** 庁舎移転時に区長応接室に掲げられていた歴代区長の肖像画5点等がなくなつた。区長が職員へ捨てよいと受け止められるような指示を出したのではないか。

**区長** 肖像画は不要と受け止められるような言動をした事実はない。旧区民会館のどんちんちよの継承

**質問** 区は片岡球子氏の「赤富士」が描かれた旧区民会館のどんちんちよを廃棄した。せめて縮小版の作成や3Dデータの公開などで文化を継承すべきだったのではないか。

**世田谷支所長** カラー写真が残っており、活用の可能性を検討する。恵泉通りの全線開通の早期実現

**質問** 恵泉通りは着工から59年経つが一軒の土地占有者によって道路がつかない。区長が占有者に対し明け渡しを説得できないならば行政代執行までの期限を示せ。

**区長** 任意の明渡し交渉を進めているため現段階では答えられない。恵泉通り開通に向けた区長の姿勢

**質問** 区長は恵泉通りの整備が難航しているにもかかわらず占有者との交渉を部下任せにしている。一刻も早く直接会って交渉に臨め。

**区長** 課題を整理した上で、何度でも出向きたいと考えている。空襲被害者支援に対する疑義

**質問** 戦争責任は国にあり、区が空襲被害者に見舞金を支給するのは疑問だ。国の財源措置を見据えた23区共通の施策づくりを特別区長会に働きかけるなどはしたのか。

**区長** 時機を見て特別区長会での議論もしていきたいと考えている。空襲被害者への見舞金の公平性

**質問** 区は空襲被害に遭った場所は関係なく、現在区に居住していれば見舞金を支給する考えだ。公平性に欠けた施策ではないか。

**保健福祉政策部長** 平和都市せたがやの取組として区民への還元を図る。



# 代 表 質 問



代表質問、一般質問の模様を  
ホームページで録画配信しています。  
世田谷区議会 議会中継 で検索！



日本共産党世田谷区議団  
川上 じゅんいち

## 排外主義に対する区長の見解

**質問** 我が党は、外国人を敵視し差別と分断を生む排外主義には断固反対であり、多様性の尊重こそが大切だと考える。差別や排外主義に対する区長の見解を示せ。

**区長** 人権を尊重する地域社会を実現することが大事だと考える。労働報酬下限額の引上げ

**質問** 区は公契約条例で定める労働報酬下限額を段階的に引き上げたが物価高騰に追いついていない状況だ。下限額を更に引き上げよ。

**副区長** 社会状況や区の財政状況などを総合的に考慮し判断する。

## エアコン購入の補助制度の創設

**質問** 都は高齢者や障害者を対象にエアコンの購入費補助を始めた。安心してエアコンを設置できるように、区独自の補助制度を創設せよ。

**保健福祉政策部長** 都の補助対象から漏れる方への支援策を検討する。

## 災害時の物資供給体制の強化

**質問** 区は災害対策強化プランに基づき、物資配送訓練を毎年度実施するとしている。具体的にどのような訓練を実施していくのか。

**危機管理部長** 役割を明確にした訓練を重ね配送の実効性を高める。生活保護基準の引上げ

**質問** 国が2015年に行った生活保護費の大幅な引下げに対し最高裁は違法性を認める判決を出した。この判決の意義を踏まえ、生活保護基準の引上げを国に強く求めよ。

**区長** 都とも連携し現場の実情を十分に踏まえるよう要望していく。

## 介護事業者への支援の強化

**質問** 区は昨年、経営が悪化する介護事業者に福祉サービスの事業継続に向けた給付金を支給した。長引く物価高騰により経営難が続く現状に鑑み、支給を継続せよ。

**副区長** 国や都の対応を注視しながら、必要な支援策を検討する。

## 一般質問

9月17日及び18日の本会議では、30名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。



佐藤 正幸 (自民)

## 大規模災害時の遺体の取扱い

**質問** 災害時の遺体安置所では遺体の取扱いに精通した専門家の協力が不可欠だが、区の協力協定の締結先は1団体のみだ。この体制で首都直下地震に対応できるのか。

**答弁** 区内にある葬祭協同組合との協定締結に向けて検討を進める。

## フリースクールの質の向上

**質問** フリースクールのスタッフは必ずしも児童指導の専門職ではないため、教育の質に不安がある。子どもの意欲を引き出す専門人材の活用など、質の確保を支援せよ。

**答弁** 事業者の要望を聞き取りながら不登校支援の研修を検討する。産後ケア事業の推進

**質問** 子どもを産み育てやすい環境の整備に一層注力すべきだ。産後に不安を抱える方がショートステイやデイケアを確実に利用できるよう、受入れ可能枠を拡充せよ。

**答弁** 拡充を目指し新規事業者の開拓に向けた取組を進めている。



青空 けいいち (無所属)

## 戦争の記憶を継承する事業の評価

**質問** せたがや未来の平和館10周年記念事業として開催されたシンポジウムは平和事業の発展に向けて区民の声を聞く貴重な機会となった。区はどの評価しているのか。

**答弁** 継続開催の要望などがあり、成果を上げられたと評価している。

## 演劇を通じた戦争の記憶の継承

**質問** 若い世代が演劇への参加や観劇を通じて原爆の悲惨さを体感できる上演会の開催を評価する。区は参加者の声も踏まえ、上演会

の成果をどう受け止めているのか。

**答弁** 平和学習の可能性を再確認する機会になったと考えている。

## 平和の継承に向けた事業展開

**質問** 戦後80年を迎えた今、次世代に平和の尊さを伝承するには戦争体験者の証言を映像技術を活用し後世に伝える工夫が必要だ。今後、平和事業をどう展開するのか。

**答弁** 区民が自らの課題として学び次世代に継承できるように努める。

## かかりつけ医制度の推進

**質問** 病気の予防や早期発見、医療費の抑制などにおいて、かかりつけ医の果たす役割は大きい。かかりつけ医を区民に普及させるためにも、重要性を十分に周知せよ。

**答弁** 様々な広報媒体を活用し、工夫を凝らしながら周知していく。

## 膵臓がんの早期発見への取組

**質問** 横浜市では膵臓がんのリスクの高い方を対象に早期発見を目指す取組を進めている。区も保健センターのMRIを活用するなどして同様の仕組みを構築せよ。

**答弁** かかりつけ医との連携の下、MRIを一層有効活用していく。

## 地域行事での熱中症対策の強化

**質問** 区内各地で厳しい暑さが続く中、商店街や町会などが懸命に熱中症対策を講じながらイベントを開催している。給水所の設置を望む声に応え、支援策を検討せよ。

**答弁** 備蓄飲料水の転用や熱中症予防対策への補助拡充を検討する。



神尾 りさ (国際)

## 不登校状態の子どもへの支援強化

**質問** 学校に行かない子どもも自分らしくいられる環境が必要だ。学校とは別の居場所を選ぶ子どもを家族や地域が見守り支える重要性について、教育長の見解を示せ。

**答弁** 子どもに寄り添い、見守り、伴走する姿勢を大切にしていこう。

## 高齢者の就労の選択肢拡大

**質問** 健康増進や生きがいのため働き続けたいと考える高齢者は多い。高齢者の豊かな生活を後押しするため、シルバー人材センターで提供する仕事の選択肢を増やせ。

**答弁** 人材不足が課題の区内事業所にセンターの活用を働きかける。

## 居場所となる地域資源の調査

**質問** 新たなコミュニティづくりにおいてカフェやジムなど行政主導ではない居場所の存在は大きい。価値の高さを認識し、居場所となり得る地域資源の調査を実施せよ。

**答弁** 調査や研究を進めるとともに、関係所管で情報を共有する。

## 三軒茶屋駅周辺の公共施設の集約

**質問** 三軒茶屋で借り上げられている公共施設は契約更新を重ね暫定利用を延長してきたが賃貸借上の制約もあり運用が不安定な状態だ。賃借に依存する区の姿勢を改めよ。

**答弁** 持続可能な行政運営に向け、公共施設の集約・再配置を進める。

## 部活動へのeスポーツの導入

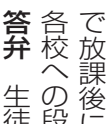
**質問** 中学校部活動へのeスポーツ導入を推進すべきだ。区が進める部活動の地域展開と歩調を合わせ、eスポーツの機材整備や指導者確保などの課題を整理せよ。

**答弁** 課題について、先行実施している学校の情報収集に取り組み

## せたがや版eスポーツの推進

**質問** eスポーツを教育分野に取り入れるべきだ。まずは不登校などの生徒が通う学びの多様な学校で放課後に先行モデルを試行し、各校への段階的な拡大を検討せよ。

**答弁** 生徒の自己決定権を尊重し、意見を聞きながら実施を検討する。



そや さいと (国都民)

## 屋外プールの開設期間の延長

**質問** 7、8月の屋外プールは日差しが強く熱中症のリスクが高い。区が運営する屋外プールの開設期間を休日だけでも暑さのピークが

過ぎる9月20日前後まで延長せよ。

## 学校での暑熱対策の更なる推進を

**質問** 猛暑により教室の空調が効かない現状を踏まえ、区は校舎棟の空調更新や遮熱対策を進めているが、整備完了が2027年では遅すぎる。来夏までに確実に整備せよ。

**答弁** 遮熱対策を空調更新に先駆けて2026年7月上旬までに実施する。

## 学校断熱の実証実験結果の活用

**質問** 塚戸小では最上階の天井裏断熱や内窓設置の効果年間を通して検証する実証実験が行われている。本実験の結果を生かして区立校の暑熱対策をどう進めるのか。

**答弁** 建物構造などを考慮し各学校の状況に応じた対策を実施する。

## 下北沢の補助54号線整備の方向性

**質問** 下北沢の中心部を貫く都市計画道路補助54号線は、住民の声を受け区長が凍結した。区は次期整備方針でもⅡ期・Ⅲ期区間の凍結を継続し、廃止も検討せよ。

**答弁** まちの変化や整備の課題なども踏まえ、判断する必要がある。

## 区民の幸福度を高める施策の展開

**質問** 物価高騰が区民生活を圧迫し続けている。区の歳入が増加を見込む今、増えた財源を基に経済面から暮らしを支える施策を展開し、区民の幸福度向上につなげよ。

**答弁** 引き続き区民生活の実情に寄り添った施策の展開に努める。

## 夏休み福祉体験の今後の方向性

**質問** 子どもが車椅子などの利用を通じて福祉を身近に感じることができる夏休み福祉体験は、子どもの健全育成にもつながる意義深い事業だ。今後の方向性を示せ。

**答弁** 大学生にボランティアを担ってもらってことで事業拡大を図る。

## 多世代交流の推進

**質問** 多世代交流は子どもや若者の新たな学びを育むとともに高齢者の孤立防止につながるなど、区民の幸福度向上に寄与する取組だ。どのように交流を推進するのか。

**答弁** 地域でのイベントなどを通じて多世代交流を推進していく。

**中里 光夫 (共産)**

**質問** 猛暑により教室の空調が効かない現状を踏まえ、区は校舎棟の空調更新や遮熱対策を進めているが、整備完了が2027年では遅すぎる。来夏までに確実に整備せよ。

**答弁** 遮熱対策を空調更新に先駆けて2026年7月上旬までに実施する。

## 学校断熱の実証実験結果の活用

**質問** 塚戸小では最上階の天井裏断熱や内窓設置の効果年間を通して検証する実証実験が行われている。本実験の結果を生かして区立校の暑熱対策をどう進めるのか。

**答弁** 建物構造などを考慮し各学校の状況に応じた対策を実施する。

## 下北沢の補助54号線整備の方向性

**質問** 下北沢の中心部を貫く都市計画道路補助54号線は、住民の声を受け区長が凍結した。区は次期整備方針でもⅡ期・Ⅲ期区間の凍結を継続し、廃止も検討せよ。

**答弁** まちの変化や整備の課題なども踏まえ、判断する必要がある。

## 多死社会を見据えた火葬場の建設

**質問** 火葬場建設が望まれる中、独占的に運営している一民間事業者に依存しきつた区の姿勢は問題だ。火葬場は公益施設であること

を肝に銘じ、真剣に検討せよ。

## 建築設計の入札参加資格の緩和

**質問** 区の建築設計に係る入札参加資格は厳しく応札できる区内事業者は僅かだ。小規模の案件で一部要件を緩和するなど区内事業者が応札しやすくなるよう改善せよ。

**答弁** 小規模の案件では実績要件を外すなどの緩和策を検討する。

## 高齢者・障害者施設への運営支援

**質問** 介護事業者、障害福祉事業者は物価高騰による経費負担の増加や人材確保への出費などで厳しい経営を強いられている。事業継続に向けた支援策を早急に講じよ。

**答弁** 都の支援金の周知を含め、事業所の意見も聞きながら検討する。

**中塚 さちよ (立無愛)**



# 問 質 一 般



若林 りさ (維新)

## 外国人による税の未納の実態把握

外国人の住民税や国保料の未納問題について社会的関心が高まっている。区の現状を把握し、適切な対応を図るため、外国人と日本人の収納率を分けて集計せよ。

答弁 住民税の収納率向上のため、適切に把握できるよう検討する。

質問 子どもの予防接種は回数が多く、その度に予防接種を記入する保護者の負担は大きい。他区の例に倣い、あらかじめ氏名や住所などの基本情報を予防接種に印字せよ。

答弁 予防接種への印字などを精査し、保護者負担の軽減を検討する。

## 地域猫活動への支援制度の創設

飼い主のいない猫を地域住民が主体的に見守る「地域猫活動」を推進すべきだ。より持続可能な活動とするためにも、ふるさと納税を活用した支援制度を創設せよ。

答弁 ふるさと納税の寄附金を活用し、補助制度の創設を検討する。



高橋 昭彦 (公明)

## 地域を舞台としたSTEAM教育

科学や芸術などを総合的に学ぶSTEAM教育に力を注ぐべきだ。子どもが地域で、ものづくりなどの様々な体験ができるよう、まち全体で学びの場を創出せよ。

答弁 子どもと地域をつなぎまち全体が学びの場となるよう進める。

## ミドルシニアのスポーツの推進

運動の機会から遠ざかるミドルシニア世代を対象としたスポーツ大会の実施は、大きな目標となり楽しく運動を継続できる効果が期待できる。区はどうか考えるか。

答弁 やりがいやスポーツの継続につながる手段であると考ええる。

## 不動産の相続登記の推進

国により義務化された相続登記は、区民の財産を守るとともに空き家や所有者不明土地の解消

に資する重要な手続だ。相続登記の徹底に向けた対策を進めよ。

答弁 家の終活セミナーやガイドブックなどで更なる周知を行う。



坂口 賢一 (自民)

## 介護DXによる事業者支援

介護人材不足が深刻化する中、離れた場所でも心拍数などを確認できる機器の導入は業務効率化に有効である。介護DXによる事業者支援にどう取り組むのか。

答弁 都の支援制度を周知し、働きやすい環境の整備を支援する。

## 学力状況を踏まえた区の取組方針

全国学力・学習状況調査による学力低下の結果を受け、国は児童生徒の学習習慣の確立や保護者への家庭教育支援などに取り組みとした。区の取組方針を示せ。

答弁 教育の基盤となる非認知能力の育成などの取組を充実する。

## 終活支援事業の対象範囲への疑義

区は実施予定の高齢者終身サポート事業について住民税非課税を利用条件の一つに挙げている。身寄りがなく不安を抱える高齢者が多い中、対象範囲が狭くないか。

答弁 経済的理由などで民間の利用が難しい方が対象となる予定だ。



たい ひろし (公明)

## 子どもの体験機会の確保

幅広い学びや体験の機会が多い子どもは自己肯定感や非認知能力が高い傾向にある。家庭の経済状況により格差が生じぬよう、民間と連携し体験機会を確保せよ。

答弁 体験の機会の保障に向け民間などと連携し支援の充実を図る。

## 生活保護世帯の若者への支援拡充

生活保護世帯の若者の進学を後押しするため、給付型奨学金制度を拡充すべきだ。家賃なども支給する児童養護施設退所者等支援事業と同程度の支援内容とせよ。

答弁 学費外の実習費も給付の対象とできないか検討を進める。

## 豪雨・水害対策助成制度の創設

激甚化する風水害から区民を守るため、災害対策基金を所管する危機管理部が中心となり「豪雨・水害対策助成制度」を早急に創設すべきだ。区の見解を示せ。

答弁 基金活用を含め災害対策関連事業の積極的な取組を調整する。



岡本 のぶ子 (公明)

## 期日前投票所での誤投票の防止

区内の期日前投票所で投票用紙の同時交付により記載ミスをしたとの声を聞く。用紙を個別交付に切り替え、係員が適切に案内できるようにマニュアルを更新せよ。

答弁 2027年の区議・区長選から個別交付が実施できるよう検討する。

## 私道整備における助成率の拡充

不特定多数の通り抜けにより路面の劣化が著しいが所有者の経済的負担が大きく補修に至らないとの声を聞く。私道整備の助成率を80%から100%に引き上げよ。

答弁 通り抜け私道の助成率を来年度から引き上げるよう検討する。

## 学校での多文化学習の推進

京都市では留学生の講師を招き、子どもの国際理解を深める多文化学習推進プログラムを導入している。これに倣い、区も総合的な学習の時間を活用し実施せよ。

答弁 他自治体の事例を参考に区の強みを生かした取組を検討する。



たかじょう 鉄子 (共産)

## 保育の質に配慮した制度設計

就労要件を問わず保育を利用できる「こども誰でも通園制度」の実施により現場の負担増が懸念される。保育士の配置基準を厚くするなど、保育の質を担保せよ。

答弁 施設や利用者の意見を伺いながら事業実施に向けて取り組む。

## 社会教育推進に向けた図書館運営

図書館には、地域課題の解決に向けて住民に学びの機会を提供する社会教育の役割が一層求め

られる。図書館の運営方針に社会教育の推進の視点を盛り込めよ。

答弁 地域課題の解決につながる取組を進められるよう検討する。

千歳烏山駅前再開発の合意形成

千歳烏山駅前の再開発事業は反対する地権者や地域住民を含め誰も置き去りにせず進めるべきだ。区は再開発に関わる方々との合意形成をどのように進めるのか。

答弁 情報発信や意見交換に努め、地域住民とのまちづくりを進める。



田中 ゆき (下行革)

## 市民活動団体への支援

区は三軒茶屋の市民活動支援コーナーを閉鎖し本庁舎に新たな活動場所を開設する。利用団体が従来どおり活動できるように、印刷機などの支援を検討せよ。

答弁 印刷機はまちづくりセンターのものを利用してできるようにする。

## 日本の教育に触れる機会の確保

23区中17区ではインターナショナルスクールに通う子どもの区立校における学籍を認めている。日本の教育に触れる機会を確保するため、モデル実施を検討せよ。

答弁 国や都の動向を注視しつつ教育の多様性への対応を検討する。

## 食育SATシステムの有効活用

保健センターには食品サンプルを選ぶだけで栄養価が分かる画期的な機材があるが、その活用は十分でない。区民の健康増進のため常設化して一層の活用を図れ。

答弁 先行自治体の活用状況などを保健センターと共有し議論する。



関口 江利子 (生ネ)

## ヤングケアラーへの支援強化

表面化しにくいヤングケアラーは、子ども部署だけでなくすべての福祉所管が自分ごととして気づきの感を高め、早期から寄り添った支援につなげよ。

答弁 関係機関が連携し早期に支援につなげる環境づくりを進める。

## 実態に則した障害福祉施設の審査

過度に厳しい整備基準から、事業者が障害福祉施設の開設を断念する事態が生じている。他所管との連携と特例措置などの事例を蓄積し審査の改善に生かせよ。

答弁 蓄積した課題などを具体的な業務を踏まえた研修に生かす。

HPVワクチンの副反応への対応

区内高校生に接種後の重い副反応が生じた。区は医師会に報告すべきだ。接種によるリスク等の説明は、法に基づく医療機関の責務であり区として要請せよ。

答弁 症状に見合った医療機関を紹介するなど適切な対応を求める。



上川 あや (虹)

## 外国人への生活保護をめぐるデマ

ある党の党首が街頭演説で出稼ぎ外国人に生活保護をあげたら我々の社会保障が崩れてしまうと発言したが就労目的での在留は対象外のはず。デマではないか。

答弁 就労を目的とする在留資格の方々は生活保護を受給できない。

## 外国人への課税をめぐるデマ

同党の党首がテレビ番組で「外国人からは相続税が取れない」「海外の人たちは払わなくていい。平等ではない」と主張したが、そのような特権もないのではないか。

答弁 国籍、住所地にかかわらず課税対象となり指摘は当たらない。

差別の抑止に繋がる区条例の周知

区内で初めて民族・国籍差別を禁じた区条例はあるが認知度が低い。差別の被害を相談できる苦情処理規定を含め、広報の強化を求めるが、区の見解は。

答弁 多文化共生の実現に向け、区民の理解が深まるよう取り組む。



オルズグル (立無愛)

## 掲示物の多言語化の推進

区の掲示物の大半が日本語であり、ルールの遵守を徹底するよう外国語での掲示を増やすべき。

防災やごみ収集、交通安全など生活に直結する情報は多言語化せよ。

答弁 必要な情報を分かりやすく入手できるように取組を進めていく。

地域行事への外国人の参加促進

日本文化を学びたいと願う外国人の力を、担い手不足が深刻な地域行事に生かすべきだ。お祭りの案内を多言語で作成するなど、参加しやすい環境を整備せよ。

答弁 イベント情報の案内を多言語化するなど参加促進に取り組む。

子どもの多文化相互理解の実現

外国にルーツを持つ子どもと日本人の子どもが、日本文化と多文化を理解し合える環境をつくるべきだ。学校などで排除のない地域社会をめざす取組を進めよ。

答弁 日本の生活習慣や人間関係の構築に寄与できるよう取り組む。



山口 しろ (自民)

## 入札参加要件の緩和

区の建築設計の入札案件は、官公庁発注案件の履行実績がないと参加できず、区内事業者の参入を阻んでいる。区内産業の育成の点からも要件の緩和を検討せよ。

答弁 発注規模に応じ実績要件を外すなど、緩和の可否を検討する。

## 玉川野毛町公園にぎわいの創出

玉川野毛町公園では民間活力を導入し、飲食などができる施設を整備予定だ。これを機に近隣の等々力溪谷を訪れた方の来園を促し、にぎわいの創出につなげよ。

答弁 区民や事業者と地域資源を活用したにぎわいづくりに努める。

## キャリア教育に対する区の見解

キャリア教育は自己理解や社会との関わりなどを通じて将来に前向きな気持ちをもたらし効果が期待でき、不登校対策にもつながると考える。区の見解を示せ。

答弁 子どもの育ちに大きく寄与しており引き続き力強く推進する。





# 問 質 一 般



ひうち 優子  
(世田谷)

## 自転車の乗り方を学べる場の確保

**質問** 子どもの自転車事故を防ぐには幼児期から正しい乗り方を覚えることが大切だ。交通公園を整備するなど親子で自転車の乗り方を学び練習できる環境を整えよ。

**回答** 他自治体の取組事例なども参考に有効な施策を研究検討する。

## 図書館ブックボックスの設置拡充

**質問** 下北沢駅に設置したブックボックスは予約図書をいつでも受け取れるため大変好評だ。図書館が周辺にない全ての駅への設置に向けて今後どう進めていくのか。

**回答** まずは利便性の高い駅近辺への設置に向けて調整を進める。

## 自動運転バスへの導入に向けた取組

**質問** 高齢者の重要な移動手段であるバスの運転手不足を解決するには自動運転の導入が有効だ。東急バスが区内で実施した実証実験の結果を踏まえた取組方針を示せ。

**回答** 東急バスと連携し、本格運行に向けた課題に取り組んでいく。



原田 竜馬  
(立無愛)

## 期日前投票所での投票方法の改善

**質問** 期日前投票所では複数回の投票を行う選挙でも一度に全ての投票用紙が交付されるため、誤記載を招く危険性が高い。貴重な一票を守るため、交付方法を見直せ。

**回答** 2027年の区議・区長選から個別交付できるよう検討を進める。

## 実効性のある禁煙促進施策の導入

**質問** 区の禁煙促進施策は周知啓発に偏り、実効性に欠けている。禁煙外来受診料の助成や参加費無料での民間禁煙プログラムの提供など、効果的な支援策を講じよ。

**回答** 区民調査などに基づく喫煙実態に合わせた支援策を検討する。

## 子育て世帯の住環境の向上

**質問** 家賃の高騰などを理由に子育て世帯の区外転出が増えており、対策は急務だ。住環境条例を改正

しファミリー向け住戸を拡充するなど住みやすい環境を整えよ。

## 敗戦を教訓とした区政の運営

**質問** 敗戦という事実を直視せず、ただ平和を願うだけでは未来の平和は築けない。国際情勢が再び不安定な状況の中、区長は敗戦から何を学び、区政にどう生かすのか。

**回答** 平和首長会議をしつかり活用して、区として声を上げていく。

## 戦争の歴史を踏まえた平和の構築

**質問** 戦後80年が経過し、戦争に関する様々な情報から歴史上の事実が明らかになってきた。この事実を踏まえ、区長は今後どのような姿勢で平和の取組を進めるのか。

**回答** 戦争の危機や平和の重要性をひととき感ずいていく必要がある。

## 戦争の原因に対する区長の考え方

**質問** 日本が戦争に突き進んだのは軍部の独走が原因であったという、戦争観を表す上で試金石となる考え方がある。区長の戦争観としてはどのように考えているのか。

**回答** 軍だけではなく、社会全体が責任を持っていたと考えている。

## 学校プールの自校整備の見直し

**質問** 猛暑が常態化する中、学校の屋外プールの稼働率は今後更なる低下が見込まれる。区営プールや民間施設の有効活用により、屋外プールの自校整備方針を見直せ。

**回答** 各校の施設更新に併せて民間施設などの活用を検討していく。

## 買物困難地区の明確化

**質問** コンビニから250メートル以上離れたエリアは区内の約2割を占めている。こうしたデータを基に買物困難地区を選定し、区の政策課題として明確に位置づけよ。

**回答** 支所\*と連携し、買物が不便である地区を明らかにする。

官民連携による買物弱者対策

**質問** 買物困難地区の解消には民間企業からの店舗誘致を促す制度設計が有効と考える。官民連携・行政手法改革担当課が責任所管となり、買物弱者対策を牽引せよ。

**回答** 政策経営部を中心に官民連携による買物弱者対策を進める。

## 学校の熱中症対策・冷水機の設置

**質問** 国は学校現場での熱中症事故防止の留意事項に水分補給できる環境の整備を挙げている。他自治体で整備が進む冷水機設置について見解と今後の対応を伺う。

**回答** 先行自治体の事例を確認するなど設置の可能性を検討する。

## 高齢者に対する総合的な政策立案

**質問** 超高齢社会が目前に迫る中、「世田谷区は高齢者に冷たい」との声をよく聞く。高齢者に向けた政策の土台を総合的に組み直すことが必要である。区の見解を伺う。

**回答** 高齢者と共に地域共生社会をつくる政策の展開を考えている。

## 認知症の診断と早期対応の重要性

**質問** 認知症の早期発見・早期対応の重要性が増す一方で、診断に繋がらないことが課題となっている。診断に向けての支援、早期発見・早期対応にどう取り組むのか。

**回答** 安心して相談や認知機能の測定ができる体制づくりを進める。

## 高木を用いた暑熱対策の推進

**質問** 暑さ対策には高木の樹冠を用いて木陰をつくること有効だ。区のみどり政策に樹冠を拡大する視点を取り入れるとともに、日よけ効果の高い剪定方法を導入せよ。

**回答** 樹木の生育環境の確保など、維持管理面も含めた検討を深める。

## ガソリン暫定税率廃止による影響

**質問** ガソリン暫定税率の廃止を与野党が合意し、10月の臨時国会で議論が再開される見通しだ。仮

に今年度中に暫定税率が廃止された場合の区財政への影響を示せ。

## マンション防災の促進

**質問** 災害時にマンション内での共助を機能させるには住民同士の顔と顔の見える関係づくりが重要だ。防災教室を行うなど、共助の仕組みづくりを区の関与で進めよ。

**回答** マンションの実情に応じたきめ細やかな支援を実施していく。

## 酷暑を踏まえた水泳授業の在り方

**質問** 昨今の酷暑を受け、他自治体では水泳授業の開始延長や実技を座学と応急手当の指導に切り替えるなど工夫を凝らしている。区は熱中症予防にどう対応するのか。

**回答** 安全に配慮しながら効果的に技能を習得する方法を検討する。

## 子どもの性被害防止に向けた取組

**質問** SNSに起因した子どもの性被害が増加しており対策が急務だ。子どもが自分の身を守るよう小学校で実施する性に関する学習をより踏み込んだ内容に改めよ。

**回答** 小学校段階での効果的な学習内容や方法などを検討していく。

## 学校における多文化共生の実現

**質問** 外国人児童生徒が増える中、学校での多文化共生を進めるべきだ。子どもの差別的な発言によりいじめに発展しないよう、差別や偏見に関する指導を強化せよ。

**回答** 子ども一人ひとりの人権が尊重される教育環境を実現する。

## 千歳烏山駅前再開発の対話と熟議

**質問** 千歳烏山駅南側地区の再開発では、地域住民の疑問や不安に対する説明が十分とは言えない。丁寧な合意形成に向け、誰もが参加できる対話と熟議の場を設けよ。

**回答** 情報共有や意見交換の場を設けるなど住民との対話を重ねる。

多様性を尊重した住宅政策の展開

**質問** 改定中の住宅整備方針では、居住貧困や格差解消の視点が希薄で多様性尊重においても課題がある。多様な家族や住まい方を念頭に情報発信や施策展開に取り組みよ。

**回答** 多様な住まい方を支援する効果的な情報発信などに取り組む。

## 国際理解に資する英語教育の推進

**質問** 国際理解のツールとして英語教育を進めるならネイティブ英語を絶対視せず、相手との対話成立と相互理解を重視するリンガフロンカとしての英語の視点導入を。

**回答** 指摘の視点を踏まえ共通言語としての英語教育を推進する。

## 配慮を要する児童への支援の強化

**質問** 新BOPP学童クラブでは要配慮児が増えているが、療育の場ではないため支援体制に課題が残る。要配慮児や保護者が安心して利用できるよう支援の質を高めよ。

**回答** 対応事例集の作成を進め、支援力の更なる向上に努めていく。

## 学びの多様化学校の進め方

**質問** 区は不登校の子どもが通う新たな学びの多様化学校を開設する。当校の取組を他校に生かすとともに、区の不登校支援における当校の位置づけを区民に周知せよ。

**回答** 子どもの状況に応じた選択肢があることを情報発信していく。

## 災害時協力協定の実効性の確保

**質問** 区が区内事業者などと締結する災害時協力協定の実効性を高めるべきだ。災害時を想定した訓練を平時から事業者と連携して行うなど、具体的な取組を加速せよ。

**回答** 協定先と円滑な関係を築けるよう連携体制づくりに取り組む。

## 学習障害への合理的配慮の推進

**質問** 学習障害が疑われる場合、適切な支援環境の整備や早期に療育につなぐことが重要だ。学校現



せたがやイーグレットホール2階ラウンジで開催されたコンサートの様子

場においてもタブレット端末を活用するなど合理的配慮を推進せよ。  
**回答** 学習支援アプリの活用など適切な指導と支援の充実を図る。  
**質問** 区は誰一人取り残さない教育を掲げるが、学習障害への支援は十分とは言えない。確実に支援につなげるため、早期発見に有効なスクリーニング検査を導入せよ。  
**回答** スクリーニングの方法や有効性を調査し、導入を検討する。  
**共同親権下での親子交流への支援**  
**質問** 共同親権の導入を機に、子どもと別居親との交流の機会を十分保障すべきだ。専門職による支援体制を構築し、子どもの安全と親子関係の再構築をサポートせよ。  
**回答** 国から示されるガイドラインに基づき、適切に準備を進める。  
本文中では左記の省略表記(※)を使用しています。  
※支所 〓総合支所



# 会派等の意見

6年度決算を審査するため、45名の議員で構成する決算特別委員会を設置し、9月30日から10月14日の間、延べ7日間にわたり質疑を行いました。ここでは、決算特別委員会での質疑や要望、今定例会最終日に表明された令和6年度決算に対する各会派等の意見の一部を要約してお伝えします。

## 本会議での意見表明者

自由民主党世田谷区議団…加藤たいき  
立憲民主党世田谷区議団…中塚さちよ  
公明党世田谷区議団…平塚けいじ  
無所属世田谷区議団…桃野芳文  
日本共産党世田谷区議団…たかじょう訓子  
国民民主党都民ファーストの会…佐藤美樹  
生活者ネット世田谷区議団…関口江利子  
シンボー世田谷…上川あや  
世田谷無所属…ひうち優子  
国際都市せたがや…神尾りさ  
せたがやの風…つるみけんご  
参政党…岡川大記  
日本維新の会…若林りさ  
無所属…青空こうじ

## 区長は区民全体の福祉増進に向け 持続可能な区政運営を進めよ

自由民主党世田谷区議団

(全ての会計に賛成する意見)



戦後80年の節目となる本年、区は民間空襲被害者などへ見舞金の支給を検討しているが、議会からは支給の正当性や対象者の判定方法など多くの疑問の声が挙がっている。被害に遭われた方へのお見舞いの気持ちについては立場を同じくするが、公金を支出するからには透明性と納得性の高い制度設計が不可欠であり、区が狙う国会での法案成立の後押しや恒久平和を願うメッセージの発信はほかの手段でも実現できる。区には限られた財源を区民の暮らしのために有効に投資し未来につなぐ責務があり、改めて慎重な対応を求めます。

6年度決算は単年度収支が約19億円、実質収支は約130億円を超え、基金残高も区債残高を大きく上回るなど、区財政は健全と見受けられる。しかし、健全財政は当然の前提であり、区には区民から預かった税金を計画的かつ効果的に活用することが求められる。もし必要な事業を実施せず、予算執行が滞った結果の好決算であるならば、

数値上健全でも区の未来は厳しいと言わざるを得ない。更に令和8年度までの施設整備費などの総額は2兆円超になると見込まれており、財政は楽観視できる状況にはない。区長には区民全体の福祉増進に向け、議会の声に真摯に耳を傾け政策を判断し、効果の乏しい事業は勇気を持って廃止するなど、持続可能な区政運営を強く求める。

以下、我が会派が提言してきた政策の実現を期待し意見を述べます。

まず、災害対策についてである。地震に強い都市づくりを進めるため、木密地域の防災性向上や建築物の耐震化、道路の無電柱化に着実に取り組む。特に、木密地域では不燃化促進のみに注力せず、延焼遮断帯としての役割を果たす道路の整備や公園などの空地の確保も同時に進めよ。また、道路整備は災害対策につながることを肝に銘じ、都市計画道路においては事業中の路線の早期開通に尽力するとともに、補助54号線のⅡ期Ⅲ期区間を優先整備路線に指定せよ。

更に、恵泉通りについては、早期開通を求める陳情が議会で趣旨採択されたことを重く受け止め、区長は土地占有者との対話から逃げずに本件の解決に全力を挙げよ。また、区内では浸水被害が繰り返して発生しており、豪雨対策の強化は喫緊の課題だ。都及び近隣区との連携強化や流域治水の推進、復旧支援の充実などを着実に進めよ。

次に定住政策についてである。区では経済的理由などから次世代を担う若者世代の転出超過が続いており、対策は急務だ。若者世代への区営住宅の優先入居枠の創設や住宅購入費補助の実施など、あらゆる方策を検討し、区に住み続けるための政策を展開せよ。

次に物価高対策についてである。国は追加の経済対策を検討しているが、区においても区民生活及び区内事業者を守るため、来年度予算はもとより、緊急対策のための補正予算の編成も視野に入れて、

迅速かつ継続的な支援に取り組み。次に公共交通政策についてである。バス路線の減便や廃止が交通不便地域の拡大につながることを十分認識し、国や都と連携して運転手不足への対策を講じるとともに、事業者への支援を検討せよ。

次に火葬場についてである。区内では火葬場不足が深刻化しており、火葬待ちの長期化や火葬料金の高騰など、諸問題が表面化している。我が会派はこうした事態を予見し、かねてより区に対策を講じるよう働きかけてきた。今般、都が墓地埋葬法の見直しを国に求めたことを好機と捉え、区は都と緊密に連携し火葬場問題の解決に向けた体制構築に全力を挙げよ。

最後に、区長に一言申し上げる。区民へのパフォーマンズの施策に終始し、厳しく現実的な決断を避ける姿勢を即刻改め、区の未来を見据えて議会と真摯に対話を重ね、合意形成を得た上で必要な施策を迅速果敢に実行せよ。

## 区民が納得できる財政運営を進め 誰一人取り残さない区政を目指せ

立憲民主党・無所属・世田谷区議団

(全ての会計に賛成する意見)



現役世代の多くは納めた税金が自分に還元される実感を持っていない。当該世代の不安に添える施策を展開するとともに、賃上げは一部の企業にとどまっていることを捉え、中小企業、フリーランス、NPOなどで働く人々の賃金が物価上昇を上回る施策にも早急に取り組め。また、子育て世帯が安心して住み続けられるよう低廉なファミリー向け住宅を整備せよ。

公契約条例では、労働報酬下限額が遵守されるよう、中小事業者への経営支援などに取り組め。また、工事以外の公共性の高い委託契約なども本条例の適用範囲に加えることを検討せよ。業務委託においては、受託事業者を「協働の

パートナー」と捉え直し、互いの強みを生かす仕組みを導入せよ。教育政策では、不登校の子どものその家族への支援を充実せよ。また、塾や教材費などの教育費は所得制限をかけずに支援せよ。インクルーシブ教育ガイドラインに基づき、障害の有無にかかわらず共に学ぶ学校環境を整えよ。子どもが自分のペースで人生を描けるよう多様な複線的なキャリアを形成できる実践的な取組を進めよ。

ジェンダー平等の実現に向け、女性の多様な生き方を保障できる支援策を拡充せよ。また、ジェンダー統計の活用に基づく政策目標を設定し、着実に施策を実行せよ。

来年度のインクルーシブプログラムの改定と併せ、障害理解促進条例を国連障害者権利委員会の勧告を捉えた内容に改正せよ。頼れる親族のいない高齢者などに寄り添う終活支援センターの開設に向け、予算や事業内容を再考せよ。

災害対策では災害情報を迅速かつ確実に広報せよ。雨水管の整備などを都に求めるとともに、止水板への費用助成など浸水対策を強化せよ。区内で安全性に問題のある擁壁などを点検し、指導せよ。

子どもの権利条例の制定に伴い、子どもや若者の区政参画が促進されることを期待する。条例の理念に基づき障害のある子どもや外国にルーツのある子どもなども含めたインクルーシブな取組を進めよ。

外国にルーツがある人々と共に働き暮らし社会を支えている現状を認識し、差別や排除がなく誰一人取り残さない区政を実現せよ。

第1に物価高騰対策についてである。長引く物価高騰に加え、酷暑による外出控えなどで区内事業者の経営は一層厳しくなっている。遅々として進まない国の交付金を待つことなく、決算剰余金を活用して、せたがやペイの追加キャンペーンや事業者支援を実施せよ。

第2に仮称終活支援センターについてである。区は高齢者の終活支援を目的に当センターを開設するが、支援内容や人員体制などに課題が残る。高齢者に寄り添うサービスを提供できるよう、委託先の選定を含め、抜本的に再考せよ。

第3に現役世代への住宅支援についてである。区内の住宅価格の上昇に伴い、ライフスタイルの変化に応じて区外に転出する現役世代が増えている。子育て家庭だけでなく単身者や夫婦のみ世帯なども対象に賃貸物件への転居と物件購入に対する助成制度を創設せよ。

第4にせたがやデジタルポイントラリーについてである。高齢者の外出促進と介護予防を目的とする本事業への参加人数は2年連続で目標値を大きく下回っており、真に区民のための税金の使われ方なのか疑問だ。費用対効果を含め、事業の精緻な効果検証を実施せよ。

第5に児童館での中高生支援についてである。我が党は中高生の生活実態に即した開館時間となるよう児童館改革を再三求めてきたが、区は人員を確保できないことを理由に一向に改善しない。直営での改善が困難ならば青少年交流センターのように民間に委託せよ。

第6にがん検診についてである。乳がんや子宮頸がんの検診受診率は無料クーポン配付などの個別受診勧奨により、高い水準を維持している。そのほかのがん検診についても無償化や個別受診勧奨の強化を図り、受診率の向上を目指せ。

第7に工口住宅補助金についてである。当補助金は3年連続で年度途中で予算がなくなり早期に受付を終了しており、事後申請のた

め工事を行っても申請できない事態を招いている。早急に補正予算を編成するとともに、8年度は十分な予算を確保せよ。また、申請方法は事前申請に切り替えよ。

区長は困難な課題から逃げずに自ら責任を負う覚悟で区政に臨め

## 一般会計には反対、その他の会計には賛成する意見

無所属・世田谷区議団



保坂区政では予算の執行率が年々低下しており、行政計画で定めた事業すらやり切れない、区長のおざなりな姿勢が見てとれる。区の「実施計画における成果指標の計画変更」という報告を見ても、当初目標の達成状況が低い施策にもかかわらず実現に向けた行動量を下方修正するなど、計画に対する達成意欲の欠如は顕著である。

また、区長はやるべき事業をなかがしるにしている一方で話題づくりを目的とした事業を展開している。その最たる例が、区が検討している民間空襲被害者への見舞金の支給である。戦争責任のある国がやるべき補償について区長が「国より先にやりました」と言いたいがために予算を投じるのは筋違いだ。

最後に、恵泉通りについて申し上げる。着工から59年経つ今もお、一軒の土地占有者により道路が分断されているにもかかわらず、区長は自らのイメージの悪化をおそれ、占有者との明渡しの交渉を部下任せにしている。整備が行き詰まる現状に終止符を打つため、区長が直接会って交渉に臨み、区のリーダーとしての責務を果たせ。

我が党が決算特別委員会でも取り上げた区政課題から最重要事項と考える7点について意見を述べます。





決算特別委員会の模様をホームページで録画配信しています。  
**世田谷区議会 議会中継** で検索!

# 令和6年度決算に対する

**区民の命と暮らしを守るため  
独自の支援策を積極的に展開せよ**

— 日本共産党世田谷区議団 —

(国保会計と後期高齢者会計には反対、一般会計と介護会計と給食会計には賛成する意見)

6年度決算の実質収支は約130億円と区財政は健全だ。この豊かな財源を生かし、区民の命と暮らしを守ることを求め、意見を述べる。

物価高騰を踏まえ、公契約条例の労働報酬下限額を100円以上に引き上げよ。国保料の引下げに向け、特別区長会を通じた国への働きかけや独自の軽減策に取り組み。低所得者を対象にエアコン購入費や電気代を助成せよ。不登校支援の強化に向け、スクールソーシャルワーカーによるアウトリーチ活動やほっとスクールの昼食補助を実施せよ。区営住宅などの戸数増に向けた明確な方針を掲げよ。浸水被害が起きやすい地域の原因を究明し、根本的な対策を講じよ。

在宅避難の支援物資の配送体制を周知せよ。こども誰でも通園制度やベビーシッター利用支援事業の導入に際しては、保育の質を担保せよ。福祉困難ケースへの対応を強化せよ。訪問介護事業者や建築事業者の暑熱対策の促進に向け、空調服などの購入費を助成せよ。未着手の都市計画道路は廃止も視野に区民と検討を進めよ。包括的な教育や平和への取組を推進せよ。

**区民目線での行政施策を展開せよ**  
 — 国民民主党・都民ファーストの会 —

(全ての会計に賛成する意見)

鉄道運休時に通勤・通学の支障が最小限となるよう、代替の交通手段として有効な民間シェアサイクルを拡充せよ。ベビーシッター利用支援事業は区民が安心して利用できるよう利用者目線の手引を作成せよ。子育て世帯が区内に住み続けられるよう住宅支援に取り組み。離婚後の親権に係る法改正

に伴い養育費に注目が集まるが、面会交流の視点も踏まえ子どもの最善の利益を第一に共同養育を推進せよ。高校受験に影響する内申点の評価基準が区立中で1校のみ異なる現状を是正せよ。待機児対策ではAIを活用した保育需要の分析などDXを推進せよ。学校間で定期考査の内容をクラウドなどで共有し教員の負担軽減などにつなげよ。区報のデジタル化を進めるとともに、区の政策に共感が持てるよう広報に動画を活用せよ。

— 生活者ネットワーク世田谷区議団 —

(全ての会計に賛成する意見)

**区民生活を支える施策を推進せよ**

人材不足などで経営難に陥る介護事業者が安定的にサービスを提供できるよう支援せよ。性と生殖に関する健康と権利を保障する取組を庁内連携の下で進めるとともに周知啓発に努めよ。ジェンダーギャップの解消に向け、生理用品を教職員用トイレにも設置せよ。AEDを異性間でもためらわずに使用できる環境を築け。各施策でジェンダー主流化を進めよ。国際理解教育や外国人向け窓口サービスを充実せよ。環境負荷の低減に向け、落ち葉の有機堆肥化を図るとともに人工芝の設置を抑制せよ。

**空襲被害者支援を実現せよ**  
 — レインボー世田谷 —

(全ての会計に賛成する意見)

区が検討中の空襲被害者見舞金を「補償」と見る誤解が止まない現状を憂慮する。わずか3万円の給付が空襲で障害を負った80年間のご苦労に見合わないことは明らか。また同支援が目指す救済立法の成立は安易な戦争の抑止にも繋がる。議員各位の賛同を切に願う。

**自転車の安全施策を前進させよ**  
 — 世田谷無所属 —

(全ての会計に賛成する意見)

自転車による事故を減らすため、安全教育の充実や専用レーンの整備を進めるとともに、逆走などの交通違反に対する反則金制度の詳細を区民に周知せよ。ベビーシッター利用支援事業の早期実施や公的書類の郵送請求におけるオンライン決済の導入などに取り組み。

**子どもの権利を守る区政を目指せ**  
 — 国際都市せたがや —

子ども最善の利益を守るためには教育と福祉の垣根を越えた取組を推進することが肝要だ。子どもの権利に根差したいじめ重大事態への対応や、教育現場への福祉職のジョブローテーションなどに向けて教育と福祉のはざまにある壁を打破することを強く期待する。

**決算審議を次の予算編成に生かせ**  
 — せたがやの風 —

(全ての会計に賛成する意見)

決算審議で区が示した地域行政の改革に向けた土台整備について8年度予算案に具体的な取組を反映することを求める。予算編成に当たっては山積する区政課題の中からどの事業に予算を投じるのか、その判断基準を明確化し区民や議会の納得が得られるよう進めよ。

**区民に信頼される区政を実現せよ**  
 — 日本維新の会 —

(全ての会計に賛成する意見)

あらゆる立場の議論を守り、安心して意見を述べられる社会を築け。

様々な区政課題に対し財源をどの事業に投じるのか優先順位を明確化せよ。区は歴代区長の肖像画滅失を受け区長と担任副区長の給与を減額するが算定根拠が曖昧だ。説明責任を果たせ。区長は自身が公約で掲げた退職金の辞退を含め、区民との約束を着実に実行せよ。

**安心して暮らせる世田谷を築け**  
 — 無所属 —

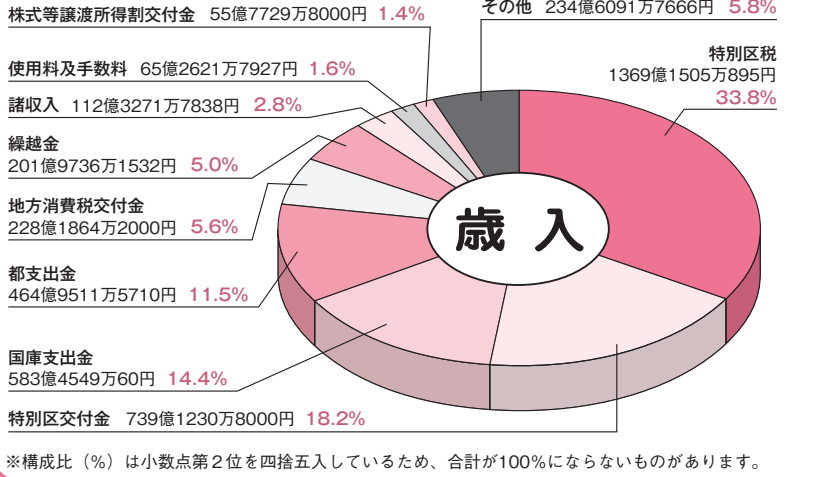
(全ての会計に賛成する意見)



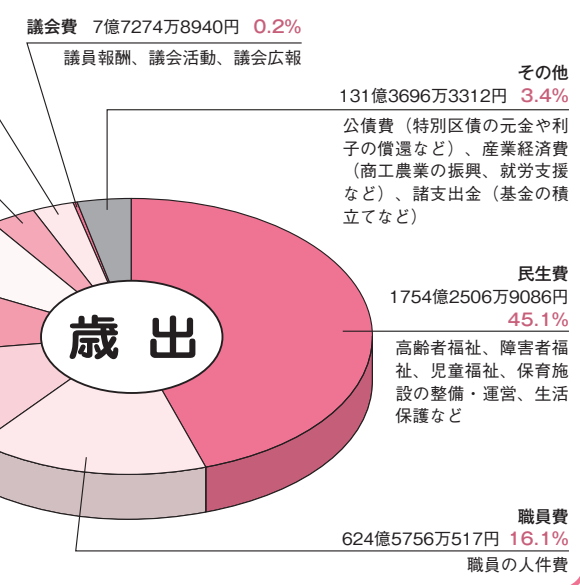
## 令和6年度各会計決算額

	歳入決算額	対前年度比伸び率	歳出決算額	対前年度比伸び率	歳入歳出差引額
一般会計	4054億8111万9628円	3.5%	3890億20万412円	4.7%	164億8091万9216円
特別会計	831億2591万3711円	-2.4%	824億7458万4991円	-2.4%	6億5132万8720円
国民健康保険事業会計	267億24万6264円	6.2%	255億7638万7897円	4.7%	11億2385万8367円
後期高齢者医療会計	765億5432万7062円	1.4%	743億3013万4134円	2.7%	22億2419万2928円
介護保険事業会計	33億2067万6517円	4.1%	33億1514万9376円	4.7%	552万7141円
学校給食費会計	5951億8228万3182円	2.5%	5746億9645万6810円	3.3%	204億8582万6372円

## 一般会計決算の内訳 (% = 構成比)



## 令和6年度 決算のあらまし





# 第4回定例会は11月26日から12月5日まで開催する予定です

↑ページからの続き

## 議会日誌

### 閉会中に開催された委員会

- 6月25日(水) 企画、区民、文教
- 26日(木) 福祉、都市
- 27日(金) 議運、子ども
- 30日(月)～7月2日(水) 企画(視察)、区民(視察)、福祉(視察)、文教(視察)
- 7月1日(火)～3日(木) 都市(視察)
- 29日(火) 企画、区民、文教
- 30日(水) 福祉、都市、DX推進、子ども
- 8月25日(月) 議運
- 9月1日(月) 企画、区民、福祉、都市、文教
- 2日(火) 企画、区民、福祉、都市
- 3日(水) DX推進、災害防犯、子ども、環境清掃
- 5日(金) 議運

### 会期中の主な会議日程

- 9月16日(火) 本会議(代表質問)、議運
- 17日(水) 本会議(代表質問、一般質問)
- 18日(木) 本会議(一般質問、議案の付託、議案の議決、請願の付託など)、決算
- 19日(金) 企画、区民、文教
- 22日(月) 福祉、都市
- 24日(水) DX推進、災害防犯、子ども、環境清掃
- 26日(金) 本会議(議案の議決など)、議運
- 30日(火) 決算(総括質疑)
- 10月1日(水) 決算(企画総務委員会所管質疑)
- 3日(金) 決算(区民生活委員会所管質疑)
- 6日(月) 決算(福祉保健委員会所管質疑)
- 8日(水) 決算(都市整備委員会所管質疑)、企画、議運
- 9日(木) 決算(文教委員会所管質疑)
- 14日(火) 決算(補充質疑)
- 17日(金) 本会議(議案の議決、議案の付託、請願の付託など)、企画、議運、懲罰

### 委員会名称

- 企画＝企画総務常任委員会
- 福祉＝福祉保健常任委員会
- 文教＝文教常任委員会
- DX推進＝DX・地域行政・公共施設整備等推進特別委員会
- 災害防犯＝災害・防犯・オウム問題対策等特別委員会
- 子ども＝子ども・若者施策推進特別委員会
- 環境清掃＝環境・清掃・リサイクル対策等特別委員会
- 決算＝決算特別委員会
- 区民＝区民生活常任委員会
- 都市＝都市整備常任委員会
- 議運＝議会運営委員会
- 公共施設整備等推進特別委員会
- 子ども・若者施策推進特別委員会
- 懲罰＝懲罰特別委員会

- ひとり親家庭の医療費助成条例(全員賛成)
- 子ども医療費助成条例(全員賛成)
- 以上2件は、オンライン資格確認に対応する医療機関を受診する際、マイナ保険証の提示で医療費の助成を受けられるよう規定を整備する。
- 条例の廃止**  
○レンタサイクルポート条例(全員賛成)
- 区のレンタサイクル事業から民間シェアサイクル事業への移行に伴い、レンタサイクルポートを廃止する。
- 工事請負契約の締結**  
○弦巻中改築等工事(全員賛成)
- 相手方＝中島建設・東京コーポレーション建設共同企業体
- 契約金額＝四五億八九〇万円
- 工期＝11年2月28日
- 工事請負契約の変更**  
○本庁舎等整備工事(全員賛成)
- 賃金水準及び物価水準の変動に伴い追加費用が必要となったため

- 地域体育館・地区体育室(全員賛成)
- 区民斎場(全員賛成)
- 区民会館(全員賛成)
- 指定管理者の指定(4件)
- 区民会館(全員賛成)
- 指定管理者
- 世田谷区民会館別館(株)株式会社
- 世田谷サービス公社
- 区民会館(株)株式会社
- 指定管理者
- 北沢区民会館別館(株)株式会社
- 世田谷サービス公社
- 区民斎場(株)株式会社
- 指定管理者
- みどり会館(株)株式会社
- J.A.東京中央セレクトセンター
- 施設名称
- 指定管理者
- 北烏山地区体育室(株)株式会社
- リハビリ
- 施設名称
- 指定管理者

- 区の特定の事務を取り扱う郵便局の指定(1件)
- マイナンバーカード及び電子証明書の発行、更新などを取り扱う郵便局を次のとおり指定する。
- 人権擁護委員候補者推薦の諮問(1件)
- 農業委員会委員任命の同意(1件)
- 議員の派遣(1件)
- ウイニング市姉妹都市提携55周年記念式典への参加のため、議員5名を派遣する。
- 決算特別委員会の設置と委員の選任(全員賛成)

## 請願

- 6年度決算を審査するため、決算特別委員会を設置し、45名の議員を委員として選任する。
- 懲罰特別委員会の設置と委員の選任(全員賛成)
- 議員から懲罰動議が提出され、これを審査するため懲罰特別委員会を設置し、12名の議員を委員として選任する。なお、取扱いは閉会中の継続審査となった。
- 公共施設内での労組加入の勧誘等に関する調査及び是正を求める陳情
- 固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書等の提出に関する請願
- 区民生活常任委員会に付託(1件)
- 地方消費者行政の維持・強化のための対策を求める意見書を国会等に提出することを求める陳情
- 福祉保健常任委員会に付託(1件)
- 中等度難聴者補聴器購入費助成制度について働くために補聴器が必要な方も助成を受けられるよう所得制限をなくすことを求める陳情
- 都市整備常任委員会に付託(1件)
- 千歳烏山駅前広場南側地区市街地再開発事業に関する都市計画画を迅速に進めないことを求める陳情
- 議会運営委員会に付託(1件)
- 世田谷区における政治家・政党ポスター掲示の自粛を求める陳情
- 子ども・若者施策推進特別委員会に付託(1件)
- 養育費立替払い制度導入に関する陳情

- 新しく出されたもの
- 企画総務常任委員会に付託(3件)
- 8月6日・9日(日)を人類総サンゲの日として休日とする意見書を国会・政府に提出することを求める陳情
- 正副委員長互選結果
- 決算特別委員会
- 委員長 けいじ(自民)
- 副委員長 けいじ(公明)
- 副委員長 ひえしま(進) (F行革)
- 懲罰特別委員会
- 委員長 阿久津(自民)
- 副委員長 原田(立無愛)
- 副委員長 馬(立無愛)

## 編集後記

○今定例会では、35名の議員が、災害対策の強化や教育施策の充実など、区政の様々な課題について質問を行いました。

○区議会定例会は、2、6、9、11月の年4回開かれます。本会議や予算・決算特別委員会が開催される際には、その模様を区役所本庁舎、総合支所、市民活動支援コーナー(キャロットタワー3階)のテレビで中継します。また、ホームページでライブ配信するとともに、お好きな時間にご視聴いただける録画配信も行っています。録画映像については、会議当日中に速報版をご覧いただけるほか、過去4年分をキーワードなどから検索することが出来ます。ぜひご利用ください。

○区議会だよりのデジ版とCD版を発行しています。視覚障害のある方などで希望される方には定期的にお送りしていますので、ご希望の際は区議会事務局調査係までご連絡ください。なお、過去1年以内の発行分については区立図書館で貸し出ししていますので、ぜひご利用ください。また、区議会だよりの点字版も発行しています。こちらにも区立図書館で貸し出ししていますのでぜひご利用ください。

○お問い合わせやお気づきの点がありましたら、区議会事務局調査係までお寄せください。

TEL (5432) 2779  
TEL (5432) 2779  
FAX (5432) 3030

本紙に掲載された質問、答弁などの詳しい内容については、会議録(本会議の分は11月中旬、決算特別委員会の分は12月下旬の発行予定)をご覧ください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所、まちづくりセンターに備えてあります。また、ホームページでもご覧いただけます。

